

あすみが丘小学校・大椎小学校田んぼ 2012 脱穀編

9月末に刈った稲を、あすみ小は吹き抜けの昇降口に、大椎小はプールサイドに干し、すっかり乾きました。いよいよ、米作り作業最後の脱穀ともみすりです！作業前に、子どもたちの米作りの師匠・金谷さんに、田植えからお米となって人の口に入り、それが田んぼに帰るまでのお話をしてもらいました。(詳しくは金谷さんから寄稿していただきます。)

そのあと、足踏み脱穀機や千歯こき、唐箕などの昔ながらの道具を使って脱穀。仕上げは最新式のもみすり機を使い、玄米までにしました。玄米ともみがらを見比べたり、玄米をじっくりかんで味わったりもしました。また、わら細工のために、わらすぐりもしました。午前中いっぱい、昔ながらの手作業に目を輝かせながら、一生懸命取り組んでくれた子どもたちの感想です。

■大椎小学校

★初めての脱穀体験(M.M)ー今日、私は初めての脱穀体験をしました。金谷さんに機械のこと、稲のことをくわしく話してもらい、知ることができました。玄米は、とても固かったけれど、甘みが少しあり、おいしかったです。脱穀の体験はむずかしかったけど、楽しかったです。また、いろいろなことがわかってよかったです。

★最後の仕事ー脱穀(K.M)ー今日は、プールサイドで乾燥させておいた稲の脱穀をしました。乾燥した大きな稲束をかかえるとずっしりとしていて、今までの作業の思い出もよみがえりました。金谷さんやYPPの方、ボランティアのお母さん方への感謝の気持ちでいっぱいです。

★脱穀をした！(K.S)ー稲束からもみをとる作業は楽しかったです。機械は昔のものを使ってやりました。脱穀の後のわらすぐり作業は、わらの葉っぱが指にあたって、痛かったです。3時間作業したので、つかれました。

★体験ではなく、仕事！(T.K)ー今日ぼくがやったのは、体験ではなく、仕事です。金谷さんから仕事する自覚をもつと教えてもらい、最初は楽しいものだと思っていたけど、ちゃんと仕事をしているということの自覚を持って仕事ことができました。また、機会があったらぜひ、農作業したいです。

★脱穀うまくできた(H.M)ー今日は、大椎小田んぼ最後の日でした。金谷さんや手伝ってくれたお母さん達にも感謝しています。脱穀では、もみがきれいにとれて気持ちよかったです。午前中ずっとやっていたので、給食はとてもおいしかったです。

★米としいなが別々に！(S.T)ー足踏み脱穀機を使った時、足で踏むテンポが合わなくて、難しかったです。唐箕を使うと、もみとしいなが別々に分けられるのを見て、感動しました。今まで、米は簡単に作られるものだと思っていたけれども、米作りの仕事をして、こんなに長い時間をかけて、一生懸命作らないとおいしいお米が作れないことがわかりました。

★むずかしい脱穀(M.I)ー今日は脱穀作業をしました。足踏み脱穀機は、強く稲束を持っていないと、機械に稲がもっていかれてしまうため、こわかったです。すごく緊張しました。何本かもっていかれてしまいましたが、無事に終わってよかったです。初めての作業で最初はわからなかったけど、教えてもらったので、よくわかりました。

★脱穀体験(A.D)ー脱穀の前に金谷さんから話をしてもらいました。お米の作り方にはいろいろな方法があることがわかりました。次に足踏み脱穀機で稲束からもみをとりました。少し緊張しました。今日1日で、昔どういう風に米が作られていたのかがわかり、いい経験になりました。

★脱穀(N.O)ー足踏み脱穀機が楽しかったです。稲束からキレイにもみがとれたときにはスッキリしました。金谷さんの説明もわかりやすく、今日はいろいろなことを学びました。玄米は金谷さんが言った通り、かめばかむほど、唾液が出てきました。今日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。

★最後の作業(Y.O)ー最初の金谷さんのお話はとても勉強になりました。私が一番楽しかったのは、脱穀です。お母さん方に手伝ってもらい、足で力いっぱい足踏み脱穀機をまわすのは、とてもやりがいがありました。手伝ってくれたお母さん方、ありがとうございました。私はこの経験を忘れないでいたいです。



■あすみが丘小学校

★かわいそうなお米(I.Y)ー今日、私は脱穀をしました。脱穀はたいへんで、お米をわらからはずす時に起こりのお米があったりしました。金谷さんがお米に「はい」とあると言っていたので、「どこかな?」と思ったら玄米のときはじっくに色がちがうところと言われました。精米になったらその「はい」の部分がとられてしまうので、ちょっとかわいそうに思いました。いつも食べているお米でもお米を育ててみて、「私たちはお米の命をいただいているんだな〜。」と思いました。これからは、お米や野菜、お魚、お肉などをいただくことに感謝して食べていきたいと思いました。

★はじめての脱穀(T.K)ーぼくは、初めて脱穀をやりました。脱穀は見たこともない機械を使ってやりました。千歯こきと足踏み脱穀機という機械を使いました。千歯こきはとても危ないので、体重をかけてやりなさいとYPPの金谷さんに言われました。足踏み脱穀機は力強く押せていて、YPPの稲富さんにほめられてうれしかったです。もみすりではたくさん米をとれて楽しかったです。またやりたいです。

★米の脱穀(H.T)ー今日はあすみ田んぼの稲の米を脱穀しました。脱穀する機械はこの間テレビで見たことあるなあと思いました。それは、足踏み脱穀機です。1回目の脱穀が終わって、次は残った米を手でざるに落とすことをしました。ずっとやっていたら右うでの親指が痛くなりました。他に千歯こきというものもありました。サイクロンというもので、サイクロンの上にある葉っぱを落とすと前に飛びました。すごかったです。

★藁の粃とり(U.K)ーぼくは、今日、米の脱穀をやりました。今日の作業の中で特に楽しかったのが、藁のもみとりです。まず、最初に足踏み脱穀機か、千歯こきで藁から粃を外して、そのあとに残っている粃を手で一つも残さずに藁から外します。この作業が楽しかった理由は、取るときの良い音が出ることです。一粒でも多く食べたかったから、下に落ちている粃も集めることもしました。今まで育てた米なので、一粒も残さないという気持ちでやりました。ひたすら、粃を外している地道な作業だったけど、楽しく作業できました。食べる時にはたくさん残さず食べたいです。

★大変だった藁選り(O.D)ー今日の田んぼ活動は脱穀でした。いろいろな活動をしたけれど、一番楽しくて大変だったのは藁選りでした。藁選りは、粃を取り終わった稲をまとめて、藁細工が出来るように準備する作業でした。斉藤さんという方に、藁選りの名人に認めてもらうことができました。藁選りはとても根気のいる作業でした。時々、お米がついた稲が一緒になっているので、それを外す作業もしました。また金谷さんの授業で教わったことはとても大切なことだと思いました。

★楽しかったもみすり機見学(T.M)ー私は10月29日にあすみ前で金谷さんが動かすもみすり機を見学しました。最初に、もみを入れて、きれいにもみがらと玄米の2つに分かれていきました。次に、玄米を食べてみました。前歯でかんだとき、とても固かったけれど、かんでいくうちに甘くなって行って、おいしかったです。その次に部品の一部を取って、同じように回して入れると、外れた所の出口からお米が飛び出してきました。私はすごいスピードで飛び出てきたとき、びっくりしました。金谷さんの話では、中でぐるぐる板が回っていて、分別されるみたいです。機械の仕組みも分かったし、いろいろとお話を聞いたので良かったです。



藁のもみとり作業 (T.K)



足踏み脱穀機 (A.T)

★楽しかった足踏み脱穀機(A.R)ー足踏み脱穀機は、針金の付いたゴツゴツのドラムを手で回し、勢いがついたら足でグッと下に下げるともっと速く回り始めました。そして、藁を入れました。稲の先の方から入れていくと、どんどんもみが飛んでいきました。ちょっとでも藁の方に集中していると、足を動かすのを忘れて回転が弱くなってしまいました。一回やめて、藁のもみとりの方に行き、人が少なくなったら、足踏み脱穀機をやりに行きました。二回目なのでちょっとは慣れました。そして、だいたいのもみが取れていたのが良かったです。



里山たんけんレポート

第 153 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2012年10月7日(日) 小雨～くもり

昨晩からの雨は今朝も残りました。開始時にも細かい雨が降っていました。今日はトンボの先生、互井賢二さんを招いてのトンボ中心の観察会です。トンボの減少が伝えられ、下大和田でも感覚としては減ってきていると感じながらもデータとして押さえてはなりません。今後実態を把握していくためにトンボの調査の方法・カウントの方法など教えていただくことも目的のひとつです。あいにくの天候でトンボはほとんど現れませんが雨が上がると次第に姿を見せるようになりました。

トンボの調査は①調査ゾーンを決めて毎年同じ時期に行う。②時期により出現する種が異なるので出来る限り調査機会を多くした方が良い。③同定が難しいが幼虫の調査もある。幼虫の調査は3月、5月頃が良い(3月は卵越冬のものには時期が早い)

成虫はたまたま飛んできたと言うものもあるが幼虫はその地で生息していると言える。③実際の調査は、捕らえて種・雌雄の判別、体長の計測、記録用紙への記入、トンボの翅へマーキング(重複カウントを防ぐ)をして放す。と言う一連の作業。この③を観察ルートを巡りトンボを捕らえながら教えていただきました。トンボは少なかったもののノシメトンボ、マユタテアカネ、オオアオイトトンボ、シオカラトンボを捕らえ、計測、記録、マーキングして放しました。最後にこの辺りで見られるトンボについて互井さんの標本で似ているものの比較やムカシヤンマやハッチョウトンボなど貴重な標本で解説をしていただきました。

下大和田谷津田 アカトンボ調査 用紙

【日付】	年		月		日		【時間】AM		～ PM		【天気】		【観察者名】	
	年	月	日	時	分	時	分	時	分	晴	曇	雨	氏名	性別
10/7	2012	10	7	8	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	8	30	8	30	9	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	9	30	9	30	10	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	10	30	10	30	11	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	11	30	11	30	12	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	12	30	12	30	1	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	1	30	1	30	2	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	2	30	2	30	3	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	3	30	3	30	4	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	4	30	4	30	5	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	5	30	5	30	6	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	6	30	6	30	7	30	晴			互井賢二	男
10/7	2012	10	7	7	30	7	30	8	30	晴			互井賢二	男

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 10月13日 稲刈りが終わった田んぼにオオアオイトトンボがひらひら舞っていた。お腹が少しふくらんだアカガエルが田んぼに来ていた。冬眠の場所を探しているよう(高山)。
- 10月21日 季節外れのアブラゼミが鳴いていた。田んぼでナツアカネが産卵しており、他にマユタテアカネやノシメトンボ、少数ながらアキアカネの姿も見られた(高山)。
- 11月3日 ジョウビタキの鳴き声が谷津に響いていた。アシ原からアオジの声もする(高山)。

下大和田

- 10月22日 きのこの第一人者 吹春俊光さんにお出でいただき秋のきのこの観察会をした。きのこと言うものについてのお話を聞きし、そのあと、山に入りきのこを採集した。40種を超えるキノコが採集され、個別にひとつひとつ解説をしていただいた(網代)。
- 10月27日 古代米稲刈りの日。カントウヨメナ、ミソソバが満開、田の畔を彩っていた。帰りがけ水路で長靴を洗っていたらオニヤンマのヤゴが2匹足元にいた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第140回 下大和田 YPP「もみすり」

今年収穫したコシヒカリや古代米のもみすりをして、玄米にします。場所は千葉市農政センターになりますので、ご注意ください。なお、古代米の脱穀は11月10日を予定していますが、稲の乾燥具合によって変更になる可能性がありますので、ホームページ等で事前のご確認ください。

日時: 2012年11月17日(土) 10:00~14:00 雨天決行

場所: 千葉市農政センター(千葉市若葉区野呂町714-3)

集合: 農政センター入り口ゲート前に9:50(もみすりをする場所がわかりにくいので定刻に集合願います)

持ち物: 弁当、飲み物、軍手、敷物など。

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第155回 下大和田 12月の谷津田観察会とごみ拾い

谷津は紅葉の季節を迎えました。昨年は少なかった冬鳥は順調に渡ってきているでしょうか。初冬の谷津の自然を楽しみます。

日時: 2012年12月2日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第87回 小山町 YPP「古代米の脱穀」

足踏み脱穀機を使って緑米を脱穀します。ガーコン、ガーコン、昔ながらの脱穀作業です。

日時: 2012年11月25日(日) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 下大和田も小山も稲刈りが終わり、田んぼでの作業は脱穀を残すだけになりました。稲がなくなつて広々と感じる田んぼにはナツアカネやマユタテアカネなど赤とんぼの仲間がやってきて卵を産んでいます。お腹がふくらんだニホンアカガエルの姿も見かけました。きっとお腹に卵を抱えて冬眠の場所を探しているでしょう。命をつなぐ生の営みです。(高山 邦明)